

## 担架・応急処置講習会開催 ～今後起こりうる災害や緊急時に備えて～

10月18日(水) 全学年各クラスの代表2名(保健委員)の生徒が集まり、「担架・応急処置講習会」を行いました。傷の種類や基本的な応急処置の方法、テーピングの知識、担架運搬法について学びました。

傷病者の搬送においては、搬送する人自身の安全も確保し、確実にを行う必要があります。

また、搬送する方法が悪いと、傷病者の容態を悪化させたり、悪影響を及ぼす原因にもなってしまう。



搬送する前にまず必要な応急処置をすること、人を呼び、運搬時の一つ一つの動作時には声をかけ合うこと、搬送者が腰を痛めたりすることのないように姿勢に注意し、膝を折り、背中を伸ばして立ち上がり、下ろすこと、進行方向などについて、実習しながら確認しました。

### ☆☆☆ 生徒の感想 ☆☆☆

担架について学ぶことがなかったので、担架のあつかい方や運び方を知れたのでとてもためになる講習会だった。また、捻挫や打撲などのケガをしたときは、必ず適切な処置(RICE処置)を行い、氷で冷やすのが1番いいことやテーピングの種類や使い方の注意点など、日々の生活を振り返って学ぶことができた。今後は自信を持って対処できると思う。

実習では、人を担架に乗せて運ぶ難しさを実感した。ケガしている人を安心させて運ぶためのポイントを学ぶことができた。今後もしものことがあっても、自分たちでもすばやく対処できると思うので、またこういった講習会を定期的に行うのもいいと思った。



(保健委員長 3年1組 石谷 智哉)